京都市交通局が、市バス20円（約9%）・地下鉄30円（約11%）の運賃値上げを打ち出しました。コロナの影響による大幅減収を受け、現在の「市バス・地下鉄経営ビジョン」（2019年度～2028年度）の見直しが必要となったとして、検討委員会を設置し、値上げを含んだ「経営ビジョン（改訂版）」の案を発表したものです。

運賃改定の実施時期は未定としていますが、効果額を令和 6 年度から見込んでいます。ビジョン改定案には他にも、「一部の駅有人改札口において，ラッシュ時間帯を除きリモート対応化」「一日券等の企画乗車券の在り方、更なるＩＣ化の促進の検討」等も含んでいます。すでに一日券の値上げや、トラフィカ京カード、昼間割引回数券の発売中止等を10月から実施しており、引き続く市民負担増となります。

京都市は『行財政改革計画』で、敬老乗車証制度の改悪、学童保育利用料の値上げを強行。今後施設利用料や手数料、保育料の値上げや補助金の廃止見直しを大規模にすすめようとしています。市民の大きな反撃でストップさせましょう。

ビジョン改定案に対する市民意見を12月10日(金)まで募集しています。是非たくさんのご意見を送ってください。

改定案・パブリックコメントの詳細は以下リンクから

https://www.city.kyoto.lg.jp/templates/pubcomment/kotsu/0000291136.html

2021年11月13日　日本共産党京都市会議員団